

# SCUDERIA

Building lifestyle around Ferrari 117  
2017 Spring

New Model: GTC4 Lusso in Tokyo & 812 Superfast from Geneva

**特集:GTC4ルツノin東京、812スーパーファストfromジュネーブ**

Special Report: The First Ferrari Dealer in the world

**世界初のフェラーリ・ディーラー、カメリーニ家の伝説**

Lifestyle: Kobe / SIHH / 360 Modena and More

**ライフスタイル:神戸特集 / ジュネーブ新作時計 / 清水草一連載:360モデナ**





# KOBE

## 跳ね馬

# 神戸

## STYLE

### 2 Days Drive / Ferrari GTC4 Lusso. ラグジュアリーな跳ね馬と特別な日々を過ごす

本誌115号で行なった初めての試み、それはひとつの都市にテーマを絞り、フェラーリを通じてその都市ならではのラグジュアリーライフをご紹介するというもの。今回はその第2弾として、神戸特集をお届けする。

「ほら、こちらの入口と奥の入口で高さが違うでしょ。山に向かって緩やかな坂になっていて、だんだん高くなっていくんですよ」。元町のとある店主に神戸をじっくり回るのは初めてだと伝えると、そう教えてくれた。顔を上げると、遠くて近い場所に六甲山が見える。少しだけ神戸にいる実感がわいてきた。

神戸の街を語るのに、やはり阪神淡路大震災の話は避けられないだろう。元町のブランドショップが立ち並ぶエリアが美しいのは、その再開発の際に、電信柱をなくしケーブルを地中に埋め込み道幅も広くしたから、と前出の店主は語る。右の写真でGTC4ルッソがアプローチする先、ホテルラ・スイート神戸

ハーバーランドも、震災後のウォーターフロント再開発事業の一環で誕生したものだ。

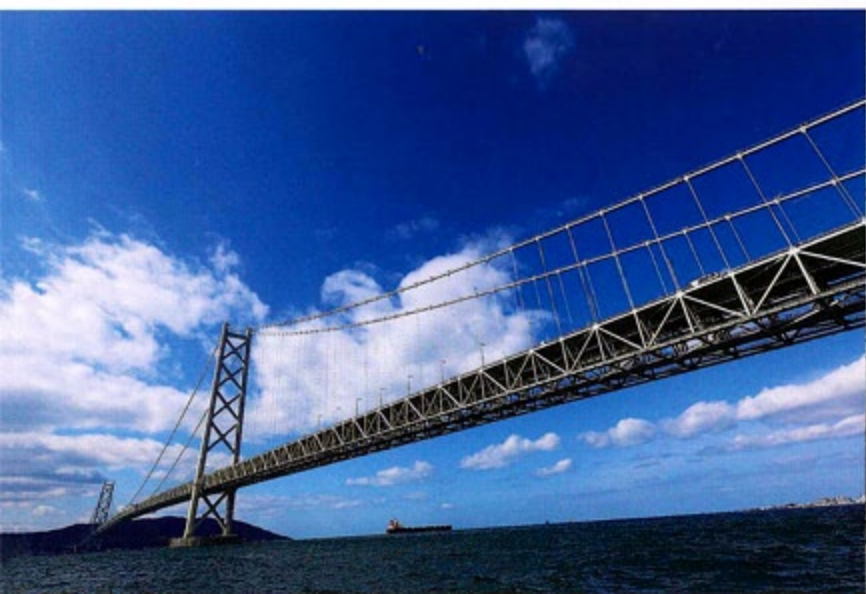
ある方が、神戸で育った人間にとって一番大きな出来事だった、と思わず心境を吐露した。復興に伴う苦勞を体験していない私がそれを語るなど到底不可能だが、実際に神戸の方々や接していると、「街は人が作る」という言葉が改めて頭の中に浮かんでくる。

本特集では神戸の方々がこの地域に約20年かけて作り上げた「新しい」ラグジュアリーライフスタイルを、フェラーリというフィルターを介してお届けする。これからも受け継がれていくであろう新しい神戸の伝統、その魅力を少しでもお伝えできれば幸いだ。

文◎平井大介  
text by Daisuke Hirai

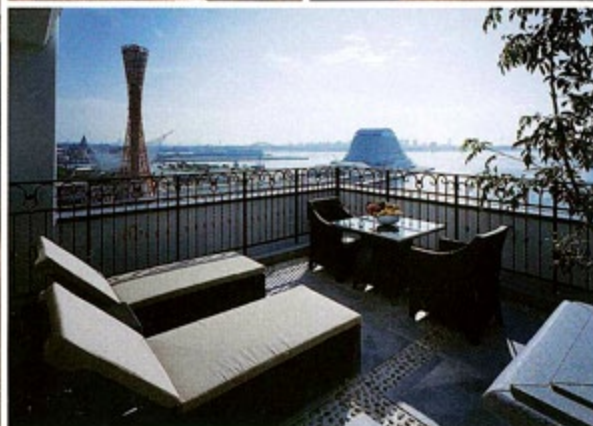
写真◎藤井元輔  
photographs by Motosuke Fujii

取材協力◎オートカヴァリーノ/ホテルラ・スイート神戸ハーバーランド









スモールラグジュアリーと表現するだけあり客室は全70室に留まるが、全室60㎡以上、オーシャンビュー、テラス付きのゆったりとした作り。今回宿泊させて頂いた右上のスーパーアツインには、ジャクジーも備わっていた。シモンズ社製のベッドも快適そのもの。

## 2 Days Drive / Ferrarri GT64 Lusso Day1 | Arrived

ロビーに足を踏み入れた瞬間から、その世界は広がっていた。フロントデスクへの導線から椅子の引き方まで完璧だ。名前を告げた瞬間、コンシェルジュの顔に「私は全てを理解しています」と書かれたように見えた。お待ちしていました、というひとことよりも、その表情にまず心を打たれた。その後の案内も、まるでこちらの聞きたいことが全て分かっているかのよう。もちろん、ラ・スイート神戸のフロントでの話である。

そのコンシェルジュがそのまま部屋まで案内するという珍しいスタイル。部屋ではこちらに断りを入れてから、ホテルオリジナルのアロマオイルを焚いてくれた。適温に感じる空調。全室オーシャンビュー、魅力的な室内の調度品の数々。既に心も身体も緩み始めていた。

「皆様お部屋に入った瞬間、「わあっ」と声をあげられます」。そう語るの取材に対応して頂いたホテルの担当者。しかしホテル、と書いて少し違和感があった。「スモールラグジュアリーホテル」と彼らは自らを表現するが、確かに単なるホテルとは何かが違う。

聞けばレストランはもちろん、こちらは女性専用だがスパ&エステティックサロンは直通エレベーターまで用意され、ガウンを着たまま移動が可能。敷地内から一歩も出なくても全てを完結できるのだ。そういう1泊2日を過ごす仕事人も多いという。

ここでご紹介したのはあくまで断片的だが、ひとつひとつに「心」が籠っているのは、そこここで感じられた。つまり単なるホテルではなく、「心を込めて出迎え、心から寛く場所」。それがラ・スイート神戸なのである。

「皆様お部屋に入った瞬間、  
「わあっ」と声をあげられます」



## KOBE

跳ね馬  
神戸  
STYLE

食も充実。店名が「心」を意味するフランス料理店「ル・クール神戸」ではディナーはもちろん、2015年の楽天トラベルの朝ごはんフェスティバルで日本一に輝いた朝食メニューも用意。敷地内のスイーツ&ベーカリー「ル・パン神戸北野」の焼き立てパンも美味だった。神戸と言えばの神戸牛も「鉄板焼心」で楽しめる。

### Information

ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド

●所在地:兵庫県神戸市中央区波止場町7-2

●phone:078-371-1111

●URL:<https://www.l-s.jp/>